

# とくしま生物多様性活動推進フォーラム

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## 生物多様性・生態系の保全と企業価値

—SDGs・ESG投資・グリーンインフラ—

**日時** 2017年12月11日(月)13時～16時30分

**場所** とくぎんトモニプラザ 3階 大会議室

徳島県徳島市徳島町城内2番地1 TEL : 088-625-3852

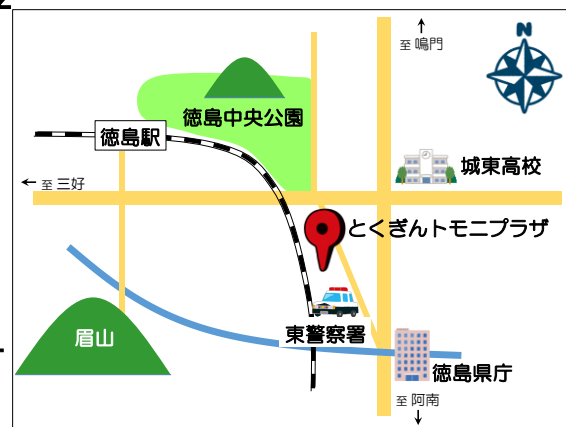
URL : <http://www.tokuginplaza.com/own/index.asp>

**定員** 先着300名 参加費無料

**主催** 特定非営利活動法人 徳島保全生物学研究会

**共催** とくしま生物多様性活動推進協議会、とくしま生物多様性センター  
生物多様性とくしま会議、徳島大学環境防災研究センター

**後援** 日本証券業協会、一般社団法人徳島経済同友会、徳島県中小企業団体中央会  
吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会(予定)  
環境省四国環境パートナーシップオフィス、四国地方ESD活動支援センター、ESD活動支援センター



【お問い合わせ先】 特定非営利活動法人 徳島保全生物学研究会

TEL : 090-2828-6181 mail : [hozen.tokushima@gmail.com](mailto:hozen.tokushima@gmail.com)

本フォーラムは、平成29年度地球環境基金の助成を受けて開催しています。



持続可能な開発目標(SDGs)、ESG投資、グリーンインフラ等に見られる、生物多様性や生態系を活かした企業活動による企業の価値付け、生物多様性に配慮を欠いた例としての外来生物の侵入による経済的損失について最新の動向を学び、徳島県内での現状を考える。

## プログラム

- 13:00~13:05 開会挨拶 大田 直友(特定非営利活動法人 徳島保全生物学研究会・代表理事)
- 13:05~13:35 グリーンインフラー世界の動き・日本の動き  
西田 貴明(三菱UFJリサーチ&コンサルティング[株] 新事業開発室・副主任研究員  
徳島大学環境防災研究センター・客員准教授)
- 13:35~14:05 SDGsおよびESGに係るMS&AD インシュアランスグループの取り組み  
原口 真([株]インターリスク総研 リスクマネジメント第三部 環境・CSRグループ・  
産学官民連携 特命共創プロデューサー)
- 14:05~14:35 証券業界のSDGsに関する取り組みについて  
村井 毅 (日本証券業協会事務局常務執行役 会員本部長)  
泊 健一(徳島合同証券[株]・代表取締役社長)
- 14:35~14:50 休憩
- 14:50~15:20 企業の品質管理としての外来種対策  
三橋 弘宗(兵庫県立人と自然の博物館・主任研究員)
- 15:20~15:45 流通の現場から考える農の生物多様性と活動認証  
小久見 正人([株]共通開発 取締役営業部長)
- 15:45~16:05 アマチュア・ネットワークを活かした侵入生物への対応  
大原 賢二(徳島県立佐那河内いきものふれあいの里 ネイチャーセンター・センター長)
- 16:05~16:25 まとめと展望 鎌田 磨人(徳島大学環境防災研究センター・教授・環境研究部門長)
- 16:25~16:30 閉会挨拶 鎌倉 満行(とくしま生物多様性センター・副センター長 / 徳島県県民環境部・次長)



## 講師紹介

**西田 貴明** 京都大学大学院理学研究科生物科学専攻修了 博士(理学)。2006年 日本学術振興会特別研究員(DC1) 2009年より三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に入社。専門は、生態学、環境経済学。環境政策(生物多様性、自然資本、気候変動適応、グリーンインフラ等)を担当。

**原口 真** 東京大学大学院農学系修士課程修了。1996年より現職。リスクソリューションのフロントランナーとして、ビジネスにおける生物多様性の主流化を推進。数多くの企業に対して、ビジネスと生物多様性マネジメントの具体的な一歩の踏み出し方を指南してきた。一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)顧問。一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)理事・京都市環境審議会生物多様性保全検討部会委員。

**村井 毅** 法政大学経済学部経済学科卒業。2014年 常務執行役会員本部長就任

**泊 健一** 1988年 早稲田大学社会科学部卒業。2003年 徳島合同証券代表取締役社長就任。2014年 内閣府「ふるさと投資」連絡会議に証券会社として初参加。2017年 日本証券業協会SDGs推進に関する取り組み「貧困、飢餓をなくし地球環境を守る分科会」委員に就任。

**三橋 弘宗** 京都大学大学院理学研究科博士前期課程修了。兵庫県立大学自然・環境科学研究所生態研究部門講師。専門は、河川生態学、保全生態学、博物館学。自然再生の適地抽出や環境影響評価等への適用方法を開発、解析の基盤となる生物多様性情報の整備手法についても研究開発を行っている。

**小久見 正人** 阿南市出身 (株)共通開発 取締役営業部長 とくしま生物多様性活動推進協議会会員、とくしまエシカル消費推進会議会員。1987年(株)京屋入社、1990年キョーエイ入社、2005年 販売部に移動、2007年 すきとく市(産直市)担当になる。2015年から関西出荷はじまる。2017年度売上金額21億円の見込み。

**大原 賢二** 九州大学大学院農学研究科博士後期課程昆虫学教室単位取得退学。専門は昆虫体系学。1985年 徳島県文化の森建設事務局主事、1990年 徳島県立博物館学芸員から自然課長、副館長を経て館長。2011年 退職。2015年より現職。現在、環境省RDB昆虫部会検討委員、日本鱗翅学会四国支部評議員。

**鎌田 磨人** 広島大学大学院生物圏科学研究科博士後期課程修了 学術博士。1990年 徳島県立博物館学芸員、主任学芸員の後、1998年より徳島大学工学部助教授、2008年より現職。専門は、生態系管理工学。